

応募
方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☒koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介選

千されたる大根の白にみえかくれ雪虫ふたつみ
つ軒端ただよう 星 明
「晩酌二合」と短歌に詠みしを嘘でねが、そん
で済まねべさと友らからかふ 齋藤 巖
待つひと無き此の数力月よ帰り来て夕べ遺影
の夫に声掛く 菊地せつ子
捨て置きたる鉢のビオラがけなげなり眩き黄を
みごとに点す 小室アイ子
今晚も明りにかかげ酬しあるワクワク袋の富山
柿ながむも 寺崎 悦子
千し柿にせんと待ちたる柿なれど猛暑のせい
か実のわずかなり 佐藤ひろ子
懸命に治療に堪へて来し義妹なれ帰宅叶はずは
かなくなりぬ 末吉アツ子
柿挽ぐひと居らねば寄って来るものらし古民家
の庭サルら戯れ合う 村上八重子
夕顔に君のおもかげ偲ぶ今花の白さや折らで過
ぎたり 佐藤喜恵子
焼き立てのお好み焼きに舌づつみ仲間が寄れば
今日もたのしき 佐藤 啓子

【評】一首目、雪虫を自在に追った一景。白いものどち、
片や冷たく片やほのぼの感を呈しているようで面白い。
二首目、ざつくばらん、飾らぬ詠いぶりが生きている。
初句の破調も勢い。
三首目、帰宅すれば一言ねがうってくだつたであ
るう夫君。募るは夕べの淋しだ。

俳壇 山家弘子選

おはようの白息交わす登校子
草原に紅つき出して吾亦紅
秋日和余生楽しむ湯治宿
通院や川の彼方の城の秋
野の道や木の葉敷きしむ登り坂

佐藤 隆志
村上八重子
平間 幸恵
大庭美智子
菊地せつ子

柳壇 四竈英夫選

空高く焼き芋囲む子らの声
袋下げ友の持ち来る酬し柿
野も山も冬將軍の来たりけり
美しき満天星紅葉の長き道
純白の山茶花に心癒やされる
【評】一句目、朝の空気がりんりん冷ゆる朝、登校の子
などが元気に白い息を吐いてあいさつをしているのは
清々しいものである。
二句目、吾亦紅は高さが六十センチから九十センチ
もあるので、ほかの草花より高いので目立つ。可憐な
花である。
三句目、老いたら明日のことなど煩つても何にもな
らない。今日を楽しむことが大事である。湯治宿で命
を長らえるか。

平和ボケ戒厳令を辞書で引き
餅を食う度に外れる総入れ歯
改革の裏で国債増すばかり
よみがえる田中投手のあの威動
スーパーム熊が居座る時代かな
落ち葉掃く少しの風で二度三度
あと少し秋の日差しの欲しい日々
陽を浴びて日がな一日俳句集
思考変えストレスためず日々楽し
しみは温泉の素家庭風呂
【評】一句目、戒厳令と聞いて軍部の反乱による二・二六
事件を連想するのは昭和の化石かシーラカンス？ 某
国の大統領が発令し波紋が広がる。
二句目、餅が入れ歯について外れるのはよくあるこ
とだが、怖いのは喉に詰まること。お年寄りや子ども
には小さく切るなどの心遣い。
三句目、改革や弱者のための予算を編成するのは結
構なことだが「ない袖は振れない」足りないところは
国債頼みとはこれ如何に。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



菊芋のきんぴら



材料

菊芋、ニンジン
調味料（醤油・砂糖・
みりん・酒）
ごま油、いりごま

- ①菊芋とニンジンをせん切りする。
- ②ごま油をひいたフライパンに調味料を入れて火が通るまで炒める。
- ③お好みでいりごまを混ぜてでき上がり。

▲おいしい健康レシピです。ぜひお試しください

サラダや
天ぷらも
おすすめ！



栄養豊富な健康野菜「菊芋」

菊芋の名前には「イモ」と付きますが、キク科の植物です。根はショウガに似た形で、菊のような黄色い花が咲きます。

菊芋の主成分であるイヌリンは、糖代謝に効果があるとされています。また、豊富に含まれているビタミン群との相乗効果で、免疫力の強化や高血圧の改善など高い健康効果が期待できます。

栄養満点な菊芋を食べて、冬を乗り切りましょう！

☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！

まちかどズームイン



▲匠の技を披露する高橋博斗工人

技術向上と無病息災を願う

弥治郎こけし初挽き

1月2日、弥治郎こけし村に隣接するこけし神社で、「こけし初挽き」が行われました。これは、工人の技術向上と1年間の無病息災を願い、その年最初に挽いたこけしを奉納する伝統行事。本年の初挽き者は、市の工人後継者育成事業で修行した高橋博斗工人。多くの愛好家に見守られる中、渾身の作品を作りました。



▲白石市消防団による勇壮な消防車両パレードの様子

無火災・無災害を目指し

令和7年白石市消防出初式

1月13日、ホワイトキューブで「令和7年白石市消防出初式」を開催しました。この日は約500人の消防団員が集結。伝統獅子乗り隊の演技披露、幼年消防クラブのアトラクション、消防車両パレードなどが行われました。我妻団長は「昨年よりも火災件数を減らせるよう皆さんの協力をお願いしたい」と話してくれました。



- 1_ 晴れやかな表情の参加者たち
- 2_ 誓いの言葉を述べる実行委員長の河村さん（左）と副実行委員長の佐久間さん（右）
- 3_ 二十歳を祝う会の企画運営に携わった実行委員の皆さん

大人としての決意を胸に

令和6年度二十歳を祝う会

1月12日、20歳の節目を祝う「令和6年度二十歳を祝う会」を開催しました。本年度の対象者は平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた301人。式典には218人が出席し、友人との再会を喜んだり、話に花を咲かせたりする光景が見られ、人生の節目の日を晴れやかに過ごしていました。

二十歳を祝う会代表の河村太樹さんと佐久間羽琉さんは「共に過ごした仲間と助け合い、この先の不安にも負けないう、希望に満ちあふれる未来に向かって歩みを止めることなく、自分を信じて力強く突き進んでいきます」と誓いの言葉を述べ、大人としての決意を胸に新たな一歩を踏み出しました。